



JR東労組 八王子

HACHIOJI



ホームページ

発行責任者
執行委員長 針谷 歩

2022/5/9 №107

「変革 2027」の実現に向けた組織の再編について

その⑤

◇提案にあたり議論した内容

【組合】

運輸部で支社と現業機関ではどのような考え方で業務を集約・移管するのか？

【会社】

・社員一人ひとりがお客様に近い場所で創意を発揮し、自己の成長と新たな価値創造を続けていくこと。・「安全」や「地域との関係」を維持しながら、鉄道オペレーションをサステナブルに運営することに代表される。現業機関に移管できる限り移管するのが前提。しかし企画部門でなければ出来ない仕事も多々ある。一つにまとめた方が効率的・サステナブルに運営出来る。

【組合】

ユニット制のメリット・デメリットは？

【会社】

サステナブルに成長を軸に変革のスピードアップを実現すること。
ユニットになると階層がフラットになり横の連携も図れる。

【組合】

設備部では継続する業務と移管する業務が明白であるが、組織再編に基づいて体制を強化していく考えはあるのか？

【会社】

効率的な運用が生まれると考えているが、一緒になる業務の渡りの部分は様々な課題も出てくる。体制強化は考えていない。効率的な運用にするために何が出来るか考えている。

【組合】

設備ユニットは設備系統を集めた体制としていくのか？

【会社】

任用の話となる。

【組合】

支社ビルの活用や使用の変更点はどうなるのか？

【会社】

これからの検討事項。

その⑥に続く